

# 令和3年度総社市市民提案型事業 中間報告会

ファミリーロード<sup>®</sup>の会

## 事業名

有志による植樹帯の整備を通して、協働のまちづくりの推進

## 協働のまちづくりとは

行政の助けを借りて各人の意識改革を図ること。

自分達の手で安全で住みやすい町づくりをするために考えること

1. 住みやすい町とは？
2. 現在の課題は何？
3. 課題を解決するための手立ては？

# 行政の助けを借りるとは

## ○交付金の活用。

- ・花壇整備機材購入（灌水ポンプ、ベンチなど）
- ・花苗購入、肥料購入など

## ○市にあるイベント用機材の有効利用。

- ・ポップコーン、射的、プロジェクターなど

## ○市に人材派遣を依頼。

- ・国際交流事業での通訳、仲介など

# 町内会の課題

- ・お祭り、溝掃除、葬儀の手伝いなど今までできていたことができにくくなり、会員のネットワークが急速に減少してきている。
- ・コロナ禍のためだけでなく、会員が協力して住みやすい町内会にしていこうという意識が少しずつなくなっている。



町内でできることはできるだけ町内で話し合い解決していくという意識づくりが必要

# 協働のまちづくりの構図

**行政が担う所**

交通面や生活面の利便性

**町内が担う所**

協力体制、下部組織の充実

**行政と町内とで担う所**

環境面（生活、教育、安全）

町内会の組織力を高めながらも、行政と連携して事業を行う

# 現在の花壇の状況 令和3年10月2日撮影



# 令和1年

市民提案型事業採択1年目（交付金30万円）

草取り中心の活動から、子ども達を交えて花を育てる活動に

中秋の名月を楽しむ開催

星座鑑賞、ポップコーン、綿菓子、メダカすくいコーナーを設けた。

- ・多くの子ども達が参加して世代を超えた交流の場となった。
- ・片岡市長が顔を出してくれて大変盛り上がった。

# 令和2年

市民提案型事業採択2年目（交付金50万円）

町内の美化活動から、自分達の手で安全で明るく美しい町づくりの第1歩へ

- ・片岡市長を招いての  
「コロナに負けるなファミリーロードの会」開催  
※他地域の町内会役員を招待
- ・ミニ園芸教室開催
- ・家族でミニクリスマスツリーを作る企画

# 令和3年

## 市民提案型事業採択3年目（交付金50万円）

### 協働のまちづくりをスローガンに意識改革

- イベントの充実（楽しむだけでなく学習の場にする）  
中秋の名月を楽しむ会では、美星天文台から職員を派遣してもらい「星座鑑賞コーナー」開設。
- 地域に在住している外国人の方を交えての交流事業。

# この3年間で変わったこと

- ・ 委員からアドバイスをいただき、町内会の取組から有志の取組としたことによってかえって参加者が増えた。
- ・ ボランティア清掃に家族で参加してくれるようになった。
- ・ イベント時の手伝いをお願いしたところ、快く申し出てくれる人が出てきた。（意識の変化）
- ・ 役員に女性部を加えたことにより、決め細かい配慮がなされている。
- ・ 家庭で花作り、野菜作りをする人が増えてきた。



会員が話をする機会が増えた

# ボランティア清掃

最近では子どもを含めた70名前後の方が参加していただけるようになった



## 今年度の活動

- ・まん延防止重点措置のため、やむなく「9月20日（月）に予定していた片岡市長を招いての「中秋の名月を楽しむ会」、11月21日（日）に予定していた料理を通しての国際交流事業を中止した。



イベントを楽しむだけでなく子ども達の学習の場に

- ・新しい企画  
花壇周辺をクリスマスイルミネーションで飾る企画。

# 花壇で点灯式を

日 時 令和3年12月5日(日) 17:00～

花壇でクリスマスツリーを作ってみませんか

- ・家にあるクリスマスツリーを花壇で装飾
- ・主催者がクリスマスツリー(コニファー小鉢)10本用意
- ・イルミネーションプレゼント

- 15時30分から花壇で準備して、できあがったツリーは17時に一斉点灯後家庭に持って帰る。
- 花壇周辺には午前中から役員がイルミネーションをセットします。

# 事業を継続するために

## 1. 人材の育成

- ・参加から企画に携わるリーダーの養成。



成功体験を増やす

2. 花壇で育てた花や株を会員に提供する取組の模索。
3. 家族参加型の取組  
子ども達が興味を持つ企画。（ミニ園芸教室など）
4. 随時情報の提供を行い会員の意識改革を促す。



ご静聴

ありがとうございました